

H24年2月上旬の沿岸域の海況と漁況

鳥取県栽培漁業センター発行H24.2.8(担当:野々村)

2月上旬の漁況

- ・1月上旬よりも、アジ類、ハマチの漁獲量が増加。
- ・1月上旬と同様、刺網によるサワラの漁獲が多い。

各地の漁獲情報 (1/31~2/6まで)

出所:漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	サワラ	御来屋	40~700箱	最大12隻	4日間操業
		赤碕	10箱前後	3~4隻	
		酒津	10箱	1隻	1日間のみ
サゴシ	赤碕	泊	20箱	2~3隻	1日間のみ
		酒津	10箱	1隻	1日間のみ
		酒津	10箱	1隻	1日間のみ
アジ類	淀江	御来屋	50~450箱	5~6隻	
		御来屋	50~260箱	5隻	3日間操業
		赤碕	30~200箱	10隻	
ハマチ	御来屋	泊	150箱	4~6隻	1日間のみ
		酒津	60, 120箱	2~3隻	2日間操業
		酒津	60, 120箱	2~3隻	2日間操業
タイ類	御来屋	泊	40箱	3~5隻	1日間のみ
		赤碕	200~700箱	10隻	8入, 1200~1800円
		酒津	8, 30箱	2~3隻	2日間操業
カゴ	カワハギ	御来屋	150箱	3隻	1日間のみ
		赤碕	120, 150箱	10隻	2日間操業
		泊	6箱	1隻	1日間のみ
桁	鮮魚	酒津	50箱	2~3隻	1日間のみ
		酒津	50箱	2~3隻	1日間のみ
		酒津	50箱	2~3隻	1日間のみ
一本釣	メバル・カサゴ	酒津	45, 49箱	1隻	2日間のみ
		赤碕	30箱	10隻	
		赤碕	30箱	10隻	
はえ縄	トラフグ	淀江	20~30本	3隻	2~3 kg主体
		淀江	20~30本	3隻	2~3 kg主体
潜り	サザエ	御来屋	1~16箱	3~4名	10kg/箱
		泊	20箱	4~5名	
		酒津	6箱	1名	
アワビ	御来屋	泊	2~3箱	3~4名	
		泊	10カゴ	4~5名	
		酒津	2~4箱	1名	

2月の漁業の様相

- ・刺網漁(サワラ、アジ類、ハマチ、タイ類)が主体

●2月上旬の沿岸域の海況 ※ 表面水温は昨年同期と同程度で推移。

表面水温は1月上旬から約2℃降下。

クロロフィルa量は1月上旬から約0.5µg/L増加。

・表面水温は11.0~13.0℃、0~20 m層の平均水温は11.2~12.7℃。

・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185 m (底層) の水温は9.2と9.6℃。

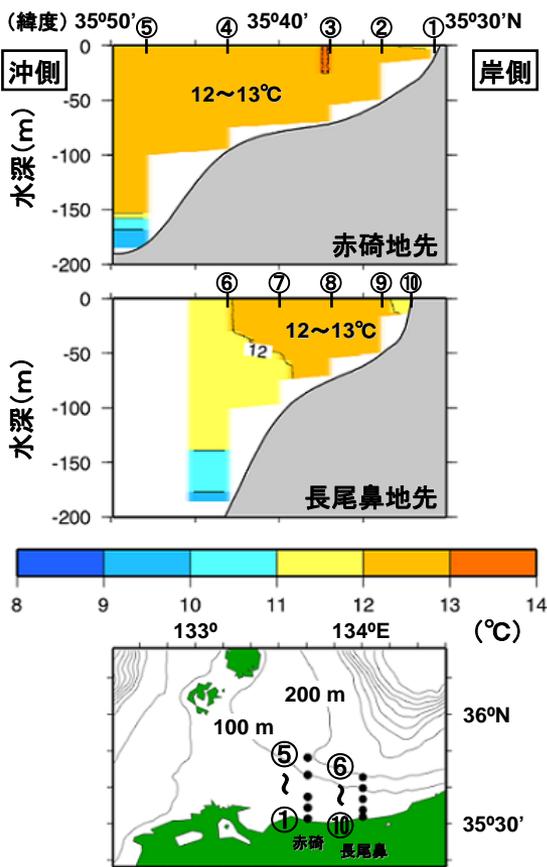


図1) 2月6日の赤碕と長尾鼻地先における水温の鉛直分布(上)と観測点(下)。

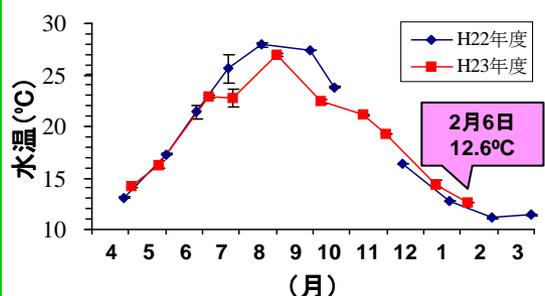


図2) 長尾鼻地先の水深50 m地点(⑨)における表層の水温の平均値の季節変化。

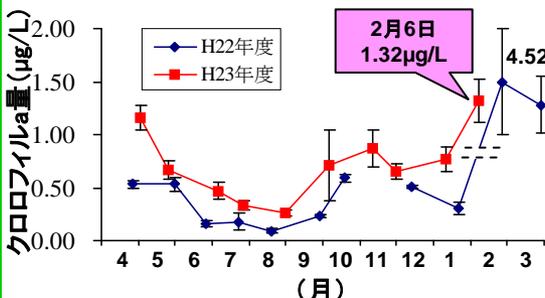


図3) 長尾鼻地先の水深50 m地点(⑨)における表層のクロロフィルa量の平均値の季節変化。

- ・水温は昨年同期と同程度で推移。季節風が強く、海水の鉛直混合が発達。
- ・クロロフィルa量は昨年同期より高く推移しており、2月になり、春の植物プランクトンブルームが始まった。